

特集

JAあきた白神カントリーエレベーター竣工



地域農業振興を図るための拠点として、JAが能代市工業団地内に建設していたカントリーエレベーターが、3月に無事完成致しました。

JAあきた白神カントリーエレベーターは、国の平成22年度食料自給率向上・産地再生緊急対策交付金事業を活用し、水田農業の振興、消費者ニーズ、6次産業化にも対応できる最新機器を備えた、米・大豆の大規模乾燥貯蔵施設です。

処理能力は、米は3,000t、大豆は600t。最新鋭の色彩選別機や、米の鮮度や食味を保つ、環境に優しい乾燥設備。また県内では初となる乾式集塵装置の導入により、外部への影響を限りなく軽減しています。さらに貯蔵した粳を精米して、白米・無洗米として供給する設備のほか、6次産業化へ向けて製粉設備も導入しております。

竣工式

4月11日には竣工式が行われ、秋田県知事の佐竹敬久氏や衆議院

議員の金田勝年氏、能代市長の齊藤滋宣氏など行政機関関係者、株式会社サタケ代表の佐竹利子氏など施業者や、JA関係者など約100名が参加しました。

同日行われた記念式典では、袴田英明組合長が「完成に至るまでの、組合員をはじめ、行政・関係機関の方々のご協力に感謝致しま



△カントリーエレベーター施設内で行われた竣工式